

第109回神戸大学経営協議会議事要録

日 時 令和4年6月27日(月) 13:30~15:10

場 所 神戸大学本部 大会議室 及び WEB (Zoom使用)

出席者 藤澤議長(学長)、
金子委員、齊藤委員、坂井委員、坂田委員、高土委員、寺島委員、
平尾委員、宮田委員、木戸委員、大村委員、河端委員、奥村委員、
中村委員、吉田委員、中尾委員、上野委員

(オブザーバー) 外村監事、林監事、松尾副学長、喜多副学長、眞庭副学長、
近藤人間発達環境学研究科長、家森経済経営研究所長、
荒川理学研究科長、南医学研究科長

欠席者 新井委員、齋藤委員、久元委員、

議事要録について

第105回から第108回までの経営協議会の議事要録について、
特段の意見はなく、役員会として確認の上、神戸大学のホームページ
に公表する旨説明があった。

審議事項 [委員からの主な意見等(○:意見・質問)]

1 令和5年度概算要求について

令和5年度概算要求に係る組織の廃止転換・再編成等及びミッション実
現加速化経費等について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

○ 医学研究科やシステム情報学研究科の入学定員が増える分だけ他
研究科の入学定員を減らさないといけないのか?

→ 医学研究科やシステム情報学研究科の入学定員が増える分に関し
て学内調整を行っていたが、文部科学省から増える分は純増でよい
旨回答を得たので、他研究科の入学定員は減らしていない。

○ 今回、大学院については再編などがあるが、学士課程についての概
算要求事項はないのか?

→ まずは大学院の教育も含めて充実化させる方針に基づき、今回の
概算要求を出している。学部の教育課程の再編も検討しているところ
だが、もう少し内容を詰めてからいろいろと要求していきたいと
考えている。

○ 神戸薬科大学では博士課程後期課程を充実させる施策を重要視し
ているが、神戸大学ではどのような状況なのか?

→ 博士課程への進学を促すため、フェローシップや次世代研究者挑
戦的研究プログラムなどを充実させ、進学率を上げる施策を行って
いるところである。

- 2 令和4年度国立大学経営改革促進事業への申請について
社会変革を先導する「異分野共創研究教育グローバル拠点」の形成に向けた経営改革を事業コンセプトとする令和4年度国立大学経営改革促進事業を申請することについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。併せて、今後の修正等については学長に一任することも承認した。
- 経営改革を伴いつつ、博士課程の研究や教育、社会との交流の充実を図るよいプログラムだと思う。一方で、博士課程を修了した後の出口の充実についても努力していただければと思う。
 - 高等学術研究院において、非常に優秀な研究を目指す学生についてテニュアトラック制度による雇用枠を20名増やしている。また、長期的な展望では卓越教員として、さらにキャリアアップできるように、早期昇格という形も考えており、将来にわたって、研究を本当に目指すことができる設定にしている。
 - 10兆円大学ファンドも大学の経営改革が条件だったと思うが、今回の事業との関係性はどのようになっているのか？
 - 今のところ、国立大学経営改革促進事業の「“トップレベルの教育研究”の展開を目指す国立大学法人」の支援対象として申請すると10兆円大学ファンドに申請することはできない仕組みになっている。本学としては、本事業の「“トップレベルの教育研究”の展開を目指す国立大学法人」の支援対象として申請しつつ、10兆円大学ファンドの動きを注視したいと考えている。
 - 計画にファンドの拡充とあるが、具体的にはどのような形を考えているのか？
 - 昨年8月の神戸市、SMBCと神戸大学との3者協定の締結を基に、本学の場合は子会社を作ることによってファンドを形成するものと考えている。
 - 計画にあるファンドの拡充については、非常に重要な事項なので、ガバナンスの観点からもかなりの説明が必要だと思う。
 - いただいたご意見をしっかり踏まえて、調書に書き込みたい。
- 3 第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定等について
第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標の指定等に向けた申請を行うことについて説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。併せて、今後の修正等については学長に一任することも承認した。
- 他大学との比較についてグループ⑤の大学との比較に終始しているが、卒業生の目からちょっと違和感がある。これは文部科学省向けにあくまで物差しを示していると解釈している。旧帝国大学との中で目標を掲げていたので、そういう目標が忘却されている訳ではないという理解でよいか？
 - 文部科学省からの通知には、同規模の大学と比較するよう指示があるため、研究に関しては研究者数、教育に関しては学生数が同規模の大学と比較している。気持ちとしては、高められるところまで高めるという思いである。

- 4 第3期中期目標期間評価（6年目終了時）に係る実績報告書について
第3期中期目標期間評価（6年目終了時）受審に当たって、評価機関（（独）
大学改革支援・学位授与機構）に提出する「達成状況報告書」と、文部科学
省に提出する「実績報告書」について説明があり、今後の修正等については
学長に一任することで承認した。

報告事項

- 1 令和3年度実施大学機関別認証評価評価結果について
令和3年度実施大学機関別認証評価評価結果について報告があった。
- 2 令和3事業年度財務諸表等について
令和3事業年度財務諸表等について報告があった。
- 3 第3期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分に係る
承認申請及び国庫納付金計算書の提出について
第3期中期目標期間終了時における国立大学法人の積立金の処分に係る
承認申請及び国庫納付金計算書の提出について報告があった。
- 4 その他
12月25日（日）に創立120周年記念式典を挙げることに
ついて報告があった。

◎ 次回は、令和4年9月26日に開催予定。